

平野 広行 議員 清流クラブ

きんちゃんプレミアム 商品券販売の検証を

問

- (1) 今回は販売総額1億3千万円、プレミアム金2千600万円であったが、例えば2千600万円のうち、600万円を子育て支援として優先的に使うとか、当初、市単独実施を検討中にこのプレミアム商品券の話が来たので、仮に500万円分の市単独補助金を出し、プレミアム率20%とすれば2千500万円の売り上げが出てくる。つまり、2千500セット分が増加ということになる。
- この分を子育て支援策として予約販売したり、500万円の市単独の補助金を出すのであれば、1万円の商品券を子供が3人以上の多子家庭には8千円か9千円で割引販売し、その分を子育て支援に充てるなどいろいろ
- ろな支援策が考えられたが、検討しなかったのか。
- (2) 平日勤務の方は土日しか買えないので販売日を土日にはできなかったのか、また、購入限度額の10万円が高いか安いのか。私は10万円は、裕福な家庭が優遇されたのではないかと考える。
- また、1家族で3人が見えた場合、30万円分買えることになり、他の人は20万円分買えなくなる。
- なぜ市民が買えなくて、市外の方が買えるのかという意見もあると思う。
- この交付金は弥富市へ入った交付金なので、基本的には市民が優先で使うべきだと考える。販売店側からすれば関係ないが、商品券を使う購入者側としては市民優先でお願いしたい。

そして、子育て支援枠を設けて優先的に販売するなど活用してほしかった。市民からも苦情があったと思うが、どんな内容か。



▲商品券販売の様子

効果はもう少し時間をかけて注視すべきである

答 開発部長

- (1) 今回の商品券は地域の緊急消費拡大という目的を持つものであり、発行数も限られていたもので、子育て支援などの他の目的を持つものは考えてはいなかった。
- (2) 購入限度額の10万円は多過ぎる、あるいは少ない、平日販売への意見、市民優

先販売や予約販売をしてほしいという要望、乳幼児でも購入可能であったという不満など、いろいろな意見をいただいた。

答 市長

- (2) 市民からは貴重な意見をいただいた。

今回の商品券の効果は、もう少し時間をかけて注視していかなくてはならない。

新公会計制度を活用した 行財政改革の取り組みを

問

- 財務書類活用目的は、人口減少が進展する中、限られた財源を賢く使うことにつなげることである。予算編成や行政評価などに積極的に活用していかねければならない。
- 歳入減少、施設の老朽化が進む中、効率的に施設の更新をしていかなければならない。その中で、公会計制度の活用が大事になってくることを私たちは理解しなければならぬ。
- (1) 本市では施設の老朽化

対策が一番の課題と考える。

これからの取り組みとして、新公会計制度を活用した取り組みについて市の考えを尋ねる。

- (2) この新公会計制度を踏まえて、行財政改革に向けた全庁的な取り組みについて、市長の考えを尋ねる。

行財政改革の手を緩める ことなく推進していく

答 財政課長

- (1) 老朽化比率、受益者負担比率、行政コスト対公共資産比率、行政コスト対税収等比率は公会計を取り入れて初めて分かってくる数値である。これらの数値は、予算編成や施設を建設するときのコスト計算などの参考にもしていかなければならない。
- (2) 行財政改革の手を緩めることなく推進していきたい。